

ひょうご男女共同参画ニュース



男女共同参画セミナー（8/21）を開催しました！

「学ぶ・働く 理工系女子をめざそう！～好きなことを仕事にする～」

大阪府立大学工業高等専門学校准教授の中谷敬子さんが「理系仕事で自分を磨く、輝く」をテーマに講演。自分の頭で考え実践する力をつける大切さを自身の経験を交えながら強調し、「成績で進路を決めるのではなく、自分が決めて進路をつかむことが大切」「キャリアプランは状況に応じて柔軟に変えていけば良い」等、理工系女子をめざす高校生・高専生をはじめとする参加者に呼びかけました。

続くパネルディスカッションでは、中谷さんのコーディネートのもと、企業で働く女性4名が理工系女子へ



の思いを語られました。

参加者からは、「自分で考える力が必要なことを改めて実感することができた」「これからの人生について考えることができた」「他人の価値観に流されずに自分の好きなことに打ち込むことが大切」等の感想が寄せられ、参加者に大きな刺激を与えるとともに、今後の進路や働き方を考える良い機会となりました。

<パネリスト>

東美佐さん（P&Gイノベーション合同会社）

石田あずささん（キャタピラー・ジャパン合同会社）

尾形麻里子さん（川崎重工業株式会社）

松尾三紀子さん（パナソニック株式会社）

（問）県男女共同参画センター 078-360-8550

平成30年度雇用均等基本調査の結果公表

～男性の育児休業取得率が過去最高に～

男女の均等な取扱いや仕事と家庭の両立などに関する雇用管理の実態把握を目的に、厚生労働省が毎年実施している「雇用均等基本調査」の平成30年度の結果が公表されました。同調査では、全国の企業と事業所を対象に、管理職に占める女性割合や、育児・介護休業制度の利用状況などについて、平成30年10月1日現在の状況を調査しています。

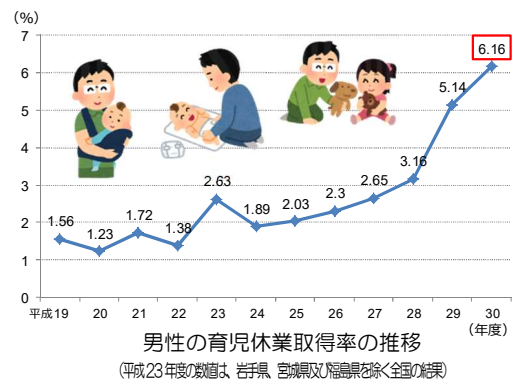
◆管理職に占める女性の割合は、前回調査からやや上昇

課長相当職以上（役員含む）の管理職に占める女性の割合は、11.8%（平成29年度11.5%）で前回調査から0.3ポイント上昇しました。役職別にみると、部長相当職では6.7%（同6.6%）、課長相当職では9.3%（同9.3%）、係長相当職では16.7%（同15.2%）となっています。

◆男性の育児休業取得率は、過去最高の割合に

男性の育児休業取得者^{※1}の割合は6.16%と、前回調査（平成29年度5.14%）より1.02ポイント上昇し、同調査開始以降、過去最高となっています（右図）。

しかし、育児休業の取得期間^{※2}をみると、女性は「10か月～12か月未満」が31.3%（平成27年度31.1%）と最も高い一方、男性は「5日未満」が36.3%（平成27年度56.9%）と最も高くなっており、育児休業を取得する男性は少しずつ増えてきているものの、女性と同程度の期間の育児休業を取得する男性は少ないことが分かります。



※1）平成28年10月1日から平成29年9月30日までの1年間に配偶者が出産した男性のうち、平成30年10月1日までに育児休業を開始した者（育児休業の申出をしている者を含む。）

※2）平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間に育児休業を終了し、復職した男性の育児休業期間

☆調査結果の詳細は厚生労働省HPをご覧ください。<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-30r.html>

（問）県男女家庭課 078-362-3160



女性の貧困と子どもの貧困 ～自己責任論からの脱却～ (7/25)

神戸学院大学現代社会学部長・教授の神原文子（かんばらふみこ）さんをお迎えし、ご講義をいただきました。

我が国において女性と子どもが貧困に陥っている現状やその起因となっている政治・経済・社会的背景等について、様々なデータに基づき、貧困を打開するために何が必要であるかを支援制度の構築や社会構造の見直しを含め、分りやすくお話しいただきました。参加者からは、「子どもの貧困は親の貧困と密接に関連しており、それが自己肯定感など他の側面と関連し、生きにくさを生んでいることがわかりました」「1985年が「女性の貧困元年」だという部分のお話が、本当に「目からウロコ」でした」等の感想があり、女性と子どもの貧困が生きづらい社会を形づくっている我が国の実相について深く考える機会となりました。



女性の労働参加の現状と課題～縮みゆく日本とこれからの女性の選択～ (7/25)

甲南大学マネジメント創造学部教授の前田正子（まえだまさこ）さんをお迎えし、ご講義をいただきました。

未婚化・晩婚化等の少子化の原因とそれらと密接につながる正規・非正規労働等、今日の就業実態、少子化に対する解決策としての女性の選択と今後目指すべき社会について、色々な経済・社会データを読み解きつつ、分りやすくお話しいただきました。参加者からは、「正規雇用を増やして（男女とも）安定した生活を確保することが出生率上昇のカギになることがわかった」「女の人が安心してイキイキと暮らせる地域社会、子どもを大切にしていけばみんなが幸せになれることがわかった」等の感想があり、少子高齢化への対策と女性の労働参加の方向性を考えるうえで、有意義な時間となりました。



働き方と家族のゆくえ ～これからの共働きを考える～ (8/8)

立命館大学産業社会学部教授の筒井淳也（つひじゅんや）さんをお迎えし、ご講義をいただきました。

戦後から90年代以降までの各時代における家族形態と働き方を概観し、現在の日本は性別分業時代からの過渡期にあること、にもかかわらず「性別分業」の視点のままに継続されてきた政府の家族政策の問題点や、多数派となった共働き社会の現状と今後の課題など、分りやすくお話しいただきました。参加者からは、「日本の専業主婦の時代が短い等の歴史的なところを学べて良かったです」「『男女共同参画』や『ワーク・ライフ・バランス』について、これまで正確に理解していなかったこともわかり、大きな学びとなった」等の感想があり、働き方改革の今後と将来の共働き社会におけるケアの再配分や多様性の課題等について考える有意義な時間となりました。



DV とモラハラ、児童虐待～加害者を変えるNOVOの取組み～ (8/8)

非暴力ルーム大阪（NO Violence room Osaka = NOVO）を運営されておられる伊田広行（いだひろゆき）さんをお迎えし、講義をいただきました。

DVを防止する取組みとDV・モラルハラスメントに潜むジェンダー課題や児童虐待との関連性、それらへの対応や防止の考え方等について、NOVOの取組み等を踏まえて、お話しいただきました。参加者からは、「普段何気なく言っている言い方が、DVやモラハラになることがわかった」「誰でも、いつでも、被害者や加害者になり得るし、そのための教育の必要性を感じました」「とても身近な内容でよくある事例だと思いました。シングル単位の考え方がとても大切だと思います」等の感想があり、DV、児童虐待等の当事者への支援の実態、山積する課題と解決への取組み等を考える貴重な機会となりました。





市町・地域男女共同参画推進員・企業の取組み

親子で学ぶ「性教育」～相手も自分も傷つけないために～（8/19）

「性」にまつわることをあいまいにせず、相手の意思を互いに確認し相手も自分も傷つけない対等な関係について学ぶワークショップを開催しました。ファシリテーターを務めた「ジェネシス」は、大学生を中心としたグループで、公益財団法人京都市男女共同参画推進協会と協働してジェンダーハンドブック

「性的同意」を作成したことをきっかけに、「だれもが安全で幸せな性生活を送れる社会づくり」を目指して活動しています。



今回は、小学生にもわかりやすい表現やゲームを通して、「境界線を守ること」や「いやなことをイヤと伝える」等、自分を大切にすることについて学びました。

（問）川西市男女共同参画センター 072-759-1856

阪神北地域 体験しよう！SDGsカードゲーム ～11年後の地球のためにあなたができることは？～（8/18）

SDGsサーポーターズ代表の杉田博幸（すぎたひろゆき）さん、2030カードゲームファシリテーターの杉田純子（すぎたじゅんこ）さんをお迎えし、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）について、わかりやすくお話いただきました。

対象が子どもということもあり、SDGsカードゲームを体験するなかで、ポテトチップスやチョコレートの適正報酬取引を例に、開発途上国の生産者や労働者、児童労働等について理解を深めました。開発途上国だけの問題ではないことを理解し、豊かで住みやすい地球を維持するために、経済・環境・社会はどうなるのか、誰もができることを考える素晴らしい時間でした。



（問）伊丹市立図書館ことば蔵 072-784-8170

◆◆がんばる企業◆◆

～社員全員が働きやすくやりがいを感じる事ができる職場を目指して～

- 会社名：株式会社マインズ（姫路市）
- 代表者：代表取締役社長 河本 尚吾
- 事業内容：人材派遣サービス、人材紹介サービス
受託関連サービス、採用コンサルティングサービス
- 従業員数：34人（令和元年8月1日時点）
- URL：<https://minds-z.co.jp/>



株式会社マインズは、平成20年10月に設立。本社を姫路市に置き、平成29年5月には、神戸支店を開設。宍粟市と明石市には、サテライト事業所を設置しています。

「人と職場を安心して結ぶ」という経営理念と「好奇心を持って働こう」という企業理念のもと、企業や官公庁、求職者を対象に、兵庫県内を中心として様々な人材サービス事業を展開しています。

同社では、学校行事での休暇、誕生日休暇など年次有給休暇の積極的な取得を促進している他、時短勤務制度、NO残業Day制度等を設けており、社員1人1人が自分のライフスタイルに合った働き方を選択することができます。また、制度があるだけでなく、その制度を利用しやすい職場風土も形成され

ており、女性社員の育児休業取得率は100%で、男性社員の育児休業取得事例もあります。

また平成27年にはワーク・ライフ・バランスの推進に向け先進的な取組を実施している企業として「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞。平成28年には「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受け「くるみん」を取得。さらに、今年の3月には、女性活躍の推進に積極的に取り組む企業として「第1回姫路市女性活躍推進企業表彰」を受賞。同社の取組は、多方面から高い評価を得ています。

今後も、男女関わらず社員全員が働きやすくやりがいを感じる事ができる職場づくりに向けて取り組みを進めていきます。

（問）県男女家庭課 078-362-3160



お知らせ・参加者募集中の講座

★女性のための心理講座★

かけがえのない自分ための 自己尊重トレーニング

自分のマイナス点ばかりが気になって、しんどくなっていませんか？ 自己尊重トレーニングは、自分の内面とじっくり向き合い自分を大切にすることを学ぶプログラムです。もっと自分を好きになって“自分と仲良くなる”ヒントを見つけませんか？

全2回の連続講座で、各回 10:00~12:30

開催日：10月7日（月）、10月21日（月）

場 所：イーブン・セミナー室

講 師：イーブン女性問題カウンセラー

定 員：20名（抽選）、参加費：無料

対 象：2回連続で受講可能な方他、条件がございます。お問い合わせください。

申込方法：当講座チラシ又はイーブンHPより

一時保育：1歳半から就学前まで定員9名（要予約）※お子様は同席できません。

★男女共同参画セミナー★

「わたしの人生、わたしのもの！～母娘関係を考える～」

参加者募集

「母が重い」と感じながら日常を過ごす娘が、母との葛藤を乗り越え、人生を自分らしく生きるためには、どうしたらよいのでしょうか。母娘関係による生きづらさの解消を図るため、母娘関係に悩む娘の立場から考えるセミナーを開催します。



◆日時：令和元年11月9日（土）
10:00~12:00

◆場所：県立男女共同参画センター
セミナー室

◆講師：加藤 伊都子さん
フェミニストキャリアング 堺
認定フェミニストカウンセラー

◆定員：30名（先着順）

◆参加費：無料

◆一時保育：1歳半から就学前まで8名（要予約・先着順）

※このページの詳細は、下記までお問い合わせください。

兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口

種 類	相談方法	電話番号等	実 施 日 時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日(原則)	17:00～19:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (電話・面接とも要予約)	078-360-8554	毎月第1～4木曜日 10/26(土)	10:00～13:00
女性就業相談室ハローワーク相談窓口	問い合わせ(電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00
不妊・不育専門相談(助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日	14:00～17:00
思いがけない妊娠SOS(助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日	10:00～16:00
	メール	http://ninshinsos-sodan.com		随時受付。返信は原則として1週間以内

ひょうご男女共同参画ニュース

令和元年9月号(Vol. 102) ※毎月1日発行

【編集・発行】 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン、兵庫県男女家庭課

【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター
TEL:078-360-8550 FAX:078-360-8558

【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00 / 土曜日 9:00～17:00 HP <https://www.hyogo-even.jp/>

【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始(12/28～1/4) Facebook <https://www.facebook.com/hyogo.even>

このニュースは、関係機関・団体や希望者に配信させていただくとともに、男女共同参画推進員がお配りさせていただいています。配信を希望される方は、上記にご連絡ください。